

50・子どもが育つ園庭 その1

今回は、子どもが園庭での遊びを通して
育っている様子をお伝えします。
動画を視聴してください



原町幼稚園園長 鶴谷主一（静岡県沼津市）

今回のテーマのきっかけは、ちょっと長い
んで飛ばして読んで頂いても結構ですが(^_^;)
こういうことです。

↓

昔の同僚（鈴木さん）が大学教員をしてい
て、アジアの幼児教育の振興にボランティア
で協力しているというので、僕も微力ながら
協力する機会を得ました。

どんな内容かという、 「アジアの幼児教育
は、いままでの教え込み型から遊び型へと変
換しようとしているため、あそびを通して子
どもたちの発達を促す日本型教育への関心が
高まっているので日本の幼稚園の紹介をして
ほしい。」ということでした。

7月のオンライン研修会に向けて「日本の
幼稚園の紹介」というテーマをもらって思案
していましたが、日本の幼稚園といっても千
差万別、いろんなタイプがありすぎて「これ
がスタンダードです！」というのは難し
い・・・という思いにぶち当たりました。

そこで、「あそび」にフォーカスを当てて紹
介してみようということで、子どもたちの遊
んでいる様子を動画で撮影して、通訳を介し
て解説しながら視聴してもらいました。

動画を作ってみて、**改めて園庭遊びの環境
の大切さを再認識しました**ので、研修会で
使ったものですが、少し手直ししてマガジン
でも紹介します。

Webinar Internasional #3
**BERMAIN SEBAGAI METODE
PENDIDIKAN**
Dilihat dari Kurikulum Merdeka dan sistem PAUD Jepang

Keynote Speakers

MS. FARIDA YUSUF
KETUA UMUM IDTKI-PQBI

MR. HIDEKAZU TANAKA
KEPALA DINAS PENDIDIKAN
INTERNASIONAL, BINA KEBERSAHAMANAN
PENDIDIKAN MEKTI JEPANG

MR. MUHAMMAD HASBI
DIREKTUR PAUD
KEMENTERIAN PENDIDIKAN RI

MS. NORIKO SUZUKI
SHOWA WOMEN UNIVERSITY DAN KEPALA
SEKOLAH JEPANG GIGA KINDERGARTEN
JAKARTA

Speakers

MR. SHUICHI TSURUYA
GEO DAN KEPALA SEKOLAH
TH KARAMACHI
Speaker 2

MS. HISAKO AOKI
PENASEHAT AKADEMIK
SHIBUYA KYOKU GAKUEN
Speaker 1

MS. MAO SAWAMIZU
YAYASAN HUSK YAMAHARA
Speaker 3

EVITA ADNAN
Moderator

DESSY WAHYUNI
Host

RISA RAHMI SEMIDANG
Interpreter

More Information

THE DETAILS

2ND JULY 2022

09.00 AM - 12.10 PM

Meeting ID: [REDACTED]
Passcode: [REDACTED]

インドネシア教職員組合 第3回国際研修フライヤー

聞きかじったところでは、インドネシアの幼児教育と日本の状況はかなり違っていて、まずは経済状況で、インドネシアで幼稚園に通える子どもたちは、ある程度経済的に余裕のある家庭の子どもだそうです。教員の評価制度、カリキュラムの考え方もずいぶん違います。「あそびを通して教育する」という概念がまだ浸透しておらず、「あそびを教え込む」みたいな感覚もあり、動画を見て刺激を受けたり、危険では無いか？という質問も活発に受けました。

しかし、あそびを通して子どもを成長させるんだ！切り替えていくんだ！という意欲は高く、私たちがのほほんと旧態依然の保育をしていると、追い越されそうなほどの強い意欲を感じました。

インドネシア幼稚園教職員組合 概要



- ・インドネシア幼稚園教職員組合の正式名称は、Ikatan Guru Taman Kanak-Kanak Indonesia (IGTKI:イーゲーケーイー) です。
- ・IGTKIはインドネシアの国立幼稚園と私立幼稚園の教職員及び退職者、保育研究者、中央及び地方政府の保育関係者が所属する組合です。
- ・高い人間性と専門性を有する組合員による宗教的・文化的多様性を相互に尊重した組織運営を使命としています。
- ・組合員の地位向上と親睦、研修実施による保育の質的向上を主目的に活動し、事務局は東ジャカルタにあります。
- ・加盟園はインドネシア全34州に及び、2021年7月31日現在の加盟園数は204,531園、組合員数289,000名です。
- ・保育関係者のみの組合としてはインドネシアで最も長い歴史を有する保育関係団体であり、インドネシアがオランダから独立した1945年8月17日の約5年後の1950年5月22日に設立されました。今回の国際研修には1000名が参加予定です。
- ・インドネシアは経済、教育、文化の地域間格差が大きく、交通費の経費負担なく受講ができるオンライン研修は、とくに僻地の保育関係者にとって恩恵が大きいものとなっています。

園庭あそび『木登り』

原町幼稚園には木登りできる木が何本かありますが、いちばん大きく登りやすいのはメタセコイヤの太木です。

この木には「力のある子は登っていい」というルールがあります。下に踏み台を置いてもダメ、大人が手伝ってもダメ、禁止です。園のシンボリックな木で、子ども自身の身体能力・危機管理能力の集大成ともいえるのが、この木のてっぺんまで登ることです。

自分の力で身体を引き上げられる力を持っている子どもは、木の上でも自分の安全を確保できると信じています。ちなみに、メタセコイヤの枝は互い違いに密集しているので、まんがいち滑ってもどこかに引っかかることができ（その時に“力”を持っているかどうかが大事になってきます）、枝が無いエリアの下にはネットを張ってあります。更に、木の根元にはゴムチップのクッション材を敷いてありますが、落下した子どもは今のところいません。年長の何人ががてっぺんを制覇し、憧れを持った子どもたちが日々精進？しながらてっぺんを目指しています。



あこがれの てっぺん！



ここです↓



動画が再生されないときはURLをブラウザーにコピーして下さい→ <https://youtu.be/fkmgr7Q4eU4>



あそび『ブランコ』

子どもたちに「幼稚園でいちばん好きなものは？」と聞くと「ブランコ!」という答えが多いんですよ(^o^)/

新園舎が建つ前は、ブランコは2基あって、計8人が同時に乗れたのですが、今は4人分しかありません。以前、1基はフラットな場所に設置してあったので、飛び降りや靴飛ばしなども良くやっていたのですが、今残っている1基は、50センチほどの高台に設置してあるため飛び降りする子どもはほぼいなくなりました。

高台に設置してあるメリットは、衝突事故の軽減にあります。前から来る子どもの高さよりもブランコが高いため、年齢の低い乳児が近づいてきても、坂を上るスピードが遅くなることで、乗っている子どもが危険を回避しやすくなることと、近づいてもブランコのほうが高いので衝突する率が低くなることです。柵を設けるよりも安全です。ちなみにブランコの後方は生垣があって後ろからブランコに近づくことはできなくしてあります。

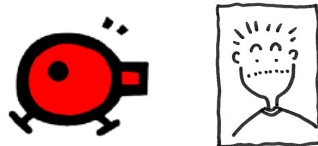
二人乗りや後ろのり、鎖をねじって短くして（座面を高くして）乗ったり、ブランコからブランコへ渡ったりいろんな工夫をして子どもたちは楽しんでいます。交代して欲しいときは、前に立って「だーれかだーれか代わって〜」と待ちます。保育者の補助を得たりして「〇回こいでからね」などと言いつつ、なんとなくうまく交代しています。

動画が再生されないときはURLをブラウザーにコピーして下さい→<https://youtu.be/mx-Of3eMVyl>



園庭というのは、保育者のねらいや目標を設定した保育計画の外側にあって、子どもたちが自由に遊びながら、周りの子どもとイレギュラーに関わったり、異年齢に関わったりしながら、それぞれ経験を重ねたり自分の思いを育む場所だなあ、と感じます。

それだけに、園庭は重要な子どもたちの成長・発達の場合だととらえ、固定遊具や道具を配置して遊んでいる子どもたちの育ちを促す“大きな仕掛け”を保育者は考えて環境を整えることが必要不可欠だと思います。



原町幼稚園 園長 鶴谷主一（61歳） H P : <http://www.haramachi-ki.ed.jp/>

「幼稚園の現場から」ラインナップ

- | | |
|-----------------------------|-------------------------------|
| 第1号 エピソード（2010.06） | 第30号 幼稚園の音楽教育（その1・発表会）2017.09 |
| 第2号 園児募集の時期（2010.10） | 第31号 幼稚園の音楽教育 |
| 第3号 幼保一体化第（2010.12） | （その2・こどものうた）2017.12 |
| 第4号 障害児の入園について（2011.03） | 第32号 幼稚園の音楽教育 |
| 第5号 幼稚園の求活（2011.06） | （その3・コード奏法）2018.03 |
| 第6号 幼稚園の夏休み（2011.09） | 第33号 〔休載〕（2018.06） |
| 第7号 怪我の対応（2011.12） | 第34号 働き方改革・一つの指針（2018.09） |
| 第8号 どうする保護者会？（2012.03） | 第35号 働き方改革って難しい（2018.12） |
| 第9号 おやこんぼ（2012.06） | 第36号 満3歳児保育について（2019.03） |
| 第10号 これは、いじめ？（2012.09） | 第37号 満3歳児保育・その2（2019.06） |
| 第11号 イブニング保育（2012.12） | 第38号 プールができなくなる！？（2019.09） |
| 第12号 ことばのカリキュラム（2013.03） | 第39号 跳び箱（2019.12） |
| 第13号 日除けの作り方（2013.06） | 第40号 幼稚園にある便利な道具〈紙を切る〉 |
| 第14号 避難訓練（2013.09） | （2020.03） |
| 第15号 子ども子育て支援新制度を考える | 第41号 コロナ休園（2020.06） |
| 第16号 教育実習について（2014.03） | 第42号 コロナ休園から再開へ（2020.09） |
| 第17号 自由参観（2014.06） | 第43号 ティーチャーチェンジ（2020.12） |
| 第18号 保護者アナログゲーム大会（2014.09） | 第44号 除菌あれこれやってみた（2021.03） |
| 第19号 こんな誕生会はいかが？（2014.12） | 第45号 マスクと表情（2021.06） |
| 第20号 I Tと幼児教育（2015.03） | 第46号 感染予防と情報発信（2021.09） |
| 第21号 楽しく運動能力アップ（2015.06） | 第47号 親子ソーラン節（2021.12） |
| 第22号 〔休載〕 | 第48号 親子コンサート（2022.03） |
| 第23号 大量に焼き芋を焼く（2015.12）2019 | 第49号 うんちでたー！（2022.06） |
| 第24号 お話あそび会その1（発表会の意味） | 第50号 子どもが育つ園庭・その1（2022.09） |
| 第25号 お話あそび会その2（取り組み実践） | |
| 第26号 お話あそび会その3（保護者へ伝える） | |
| 第27号 おもちゃのかえっこ（2016.12） | |
| 第28号 月刊園便り「はらっぱ」（2017.03） | |
| 第29号 石ころギャラリー（2017.06） | |

▶気になる記事・ご感想質問等ありましたら気軽に連絡ください。✉ office@haramachi-ki.jp